

香南市野市町の幸福度と人口増加要因について

～野市町の魅力度向上への提案～

1170494 横田 真奈

高知工科大学マネジメント学部

1. 概要

現在、47都道府県を対象にした幸福度ランキングは様々な研究者が様々な観点・指標から分析し、ランキングづけされている。また、筆者が生まれ育った高知県香南市野市町の人口は年々増えているが、住民基本台帳人口をベースとしてこのまま転出入や出生の傾向が続くと仮定した場合、平成47年から人口は減少していくと予想されている。本稿では、これらの現状をふまえ、慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科の前野隆司教授と株式会社博報堂との共同研究である「地域しあわせ風土調査」をベースに、香南市野市町の幸福度を調査し、将来的な野市町の人口維持・人口増加のための課題を見出し、今後の野市町の魅力度向上のヒントになれば幸いであると考えている。

2. 背景

『2016年版全47都道府県幸福度ランキング』によれば、高知県の幸福度は47位という最下位の結果にある。この研究では、幸福度の基本指標を①人口増加②財政健全度③食料自給率④選挙投票率⑤一人あたり県民所得としており、住民の声（つまり主観的意見）ではなく経済的データで求めている。反対に、慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科である前野隆司教授と株式会社博報堂との共同研究である「地域しあわせ風土調査」での高知県の幸福度ランキングは47都道府県中15位という結果にある。この研究では、地域の幸福度を測定するオリジナル調査を作成し、全国15000人を対象にアンケート調査を行っている。この調査では、人が幸せな人生を送るために必要な心構えや気持ち、行動姿勢を指標にしており、主観的意見を重視した研究となっている。筆者は、主観的意見を重視した「地域しあわせ風土調査」に興味を持った。

高知県香南市は、5つの町（野市町・香我美町・吉川町・赤岡町・夜須町）から構成されておりその内の一つに野市町が含まれる。野市町は、県中央部に位置し、南部は平坦部、北部は中山間部となっている。香南市全体の人口が平成22

年度から年々減少しているのに対し、野市町の総人口は、平成27年度時点で約19346人となっており、年々人口は増加している。

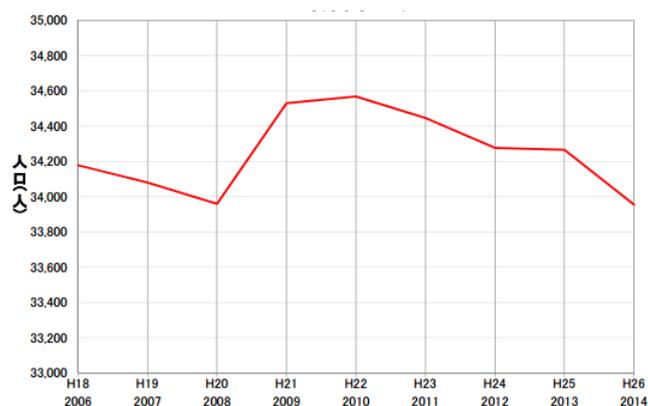


図2-1 香南市の総人口推移

HP 香南市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンより引用

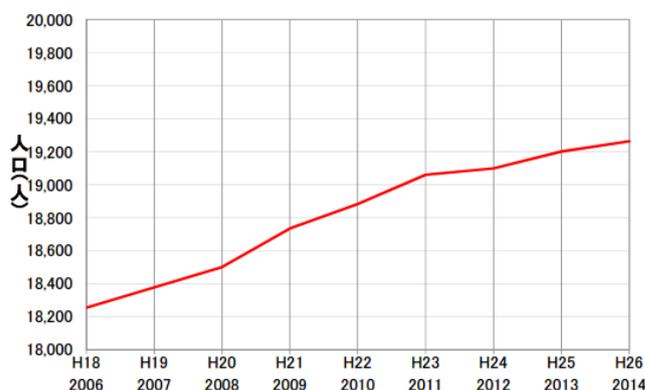


図2-2 野市町の人口推移

HP 香南市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンより引用

しかし、香南市の『まち・ひと・しごと創生人口ビジョンー美しい水と緑と風に包まれ元気で豊かに光るまちー』によると、平成47年から野市町の人口も減少していくと予想されている。人口減少を防ぐためには、実際の住民の声から野市町の幸福度をはかり、人口増加要因を理解し、今後野市町の魅力度向上のための課題抽出が必要であるとする。

3. 目的

本研究では、『地域しあわせ風土調査』をもとに筆者の地元である高知県香南市野市町の幸福度を調査し、野市町の人口増加要因を探り、今後の野市町の魅力度向上及び住民の幸福度をあげるための課題提案までを目的とする。

4. 研究方法

本研究は、はじめに、①香南市野市町の現状について公表された資料や香南市役所の方のお話をもとに整理すると共に、「地域しあわせ風土調査」についても公表された論文や資料をもとに文献調査を進める。次に、②「地域しあわせ風土調査」のアンケートをもとに、性別・年齢などの属性を加えると共に、「なぜ野市町に住んでいるのか？」などの聞き取り調査を加え、野市町民 286 名にアンケート調査及びヒアリング調査を行った。調査方法は、街角アンケート及び香南市役所の方の協力により行った。最後に、③アンケート調査及びヒアリング調査から、野市町の人口増加要因、住民の幸福度をあげるには今後何が必要であるかを検討し、今後の野市町の魅力度向上への課題を提案する。

5. 結果

5.1 地域しあわせ風土調査の概要

地域しあわせ風土調査とは、株式会社博報堂と慶応義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科の前野隆司教授との共同研究であり、地域の幸福度を高めるためのメカニズムを明らかにし、幸福度最大化のまちづくりを実現することを目指した、地域の幸福度を測定するオリジナル調査であり、これまでに全国 15000 人を対象に調査が行われている。前野教授の研究によると、人がしあわせを感じる要因は大きく分けて次の 4 つで構成されている。

- ① やってみよう（自己実現と成長）
- ② ありがとう（つながりと感謝）
- ③ なんとかなる（前向きと楽観）
- ④ あなたらしく（独立とマイペース）

人は成長や自己実現の機会に恵まれ、大切な人とのつながりを保ち、自分らしさを守りながら、前向き・楽観的な気持ちで行動できれば、しあわせな人生を送れるということである。ただし、この 4 つを持ち合わせていても、食料に困るほどの経済的困窮や犯罪、自然災害などの面で身の危険を感じていれば、しあわせであるとは言い難い。そこで、この 4 つの指標に幸せな生活のベースとなる、雇用・経済・防犯・防災な

どに関連する⑤ほっとする（安全と安心）を加えた 5 つの指標を地域のしあわせ 5 指標と定義し、これらの指標を元に幸福度をスコア化している。この調査では、地域の幸福度を 2 つの側面から調査している。1 つは、そこで暮らす住民個人が、やってみよう・ありがとう・なんとかなる・あなたらしく・ほっとする、この 5 つの気持ちを現在の日常生活でどの程度感じているかという「風」の質問である。こういった気持ちの人が多ければ多いほど、地域には現在しあわせな気運が流れているということになる。もう 1 つは、その地域に上記 5 つの気持ちを後押しする価値観や土壌がどの程度根ざしているかという「土」の質問である。やってみよう・ありがとう・なんとかなる・あなたらしく・ほっとする、これらの気持ちを住民に植え付ける土壌がなければ、一時的な変化や景気の上昇、新規住民の増加などの風が吹いても、最終的には定着しないのである。「風」と「土」の 2 つが揃って、地域の中長期的なしあわせを実現できると考えられている。そして、「風」、「土」それぞれの 5 つの指標のスコアの合計を「風スコア」、「土スコア」とし、「風スコア」と「土スコア」の合計を「地域しあわせ風土スコア」と定義している。

5.2 アンケート調査の結果

<高知県全域との比較 風スコア>

風スコアでは、野市町は、高知県全域と比べると、「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「ほっとする」指標で得点が高く差も大きい結果となった。「あなたらしく」指標での得点はさほど変わらない結果となった。

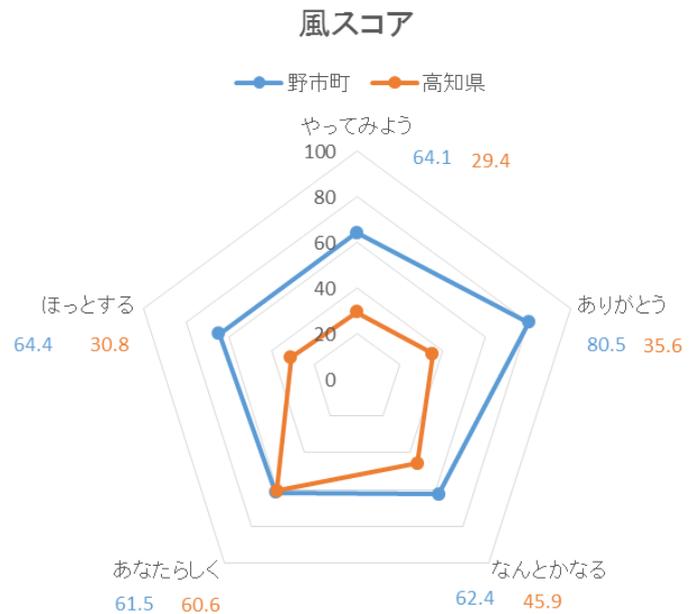


図 5-1 風スコア（野市町と高知県全域との比較）

筆者作成

＜高知県全国との比較 土スコア＞

土スコアでは、「ほっとする」指標が、高知県全域に比べて得点が高く、差も大きい結果となった。対して、「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「あなたらしく」指標では、高知県全域と比べると偏差値が低く、特に、「なんとかなる」「あなたらしく」指標での得点の差が大きい結果となった。

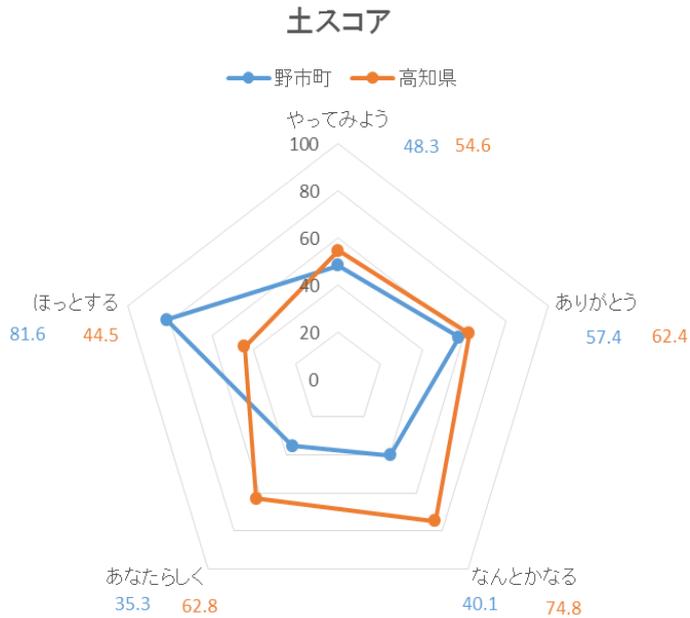


図 5-2 土スコア（野市町と高知県全域との比較）

筆者作成

＜野市町の男女比較 風スコア＞

風スコアでは、男女差はほとんど見られない結果となった。

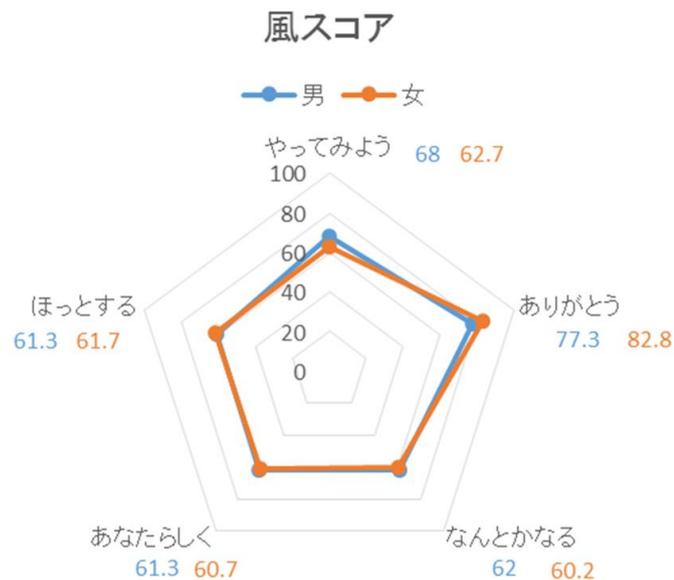


図 5-3 風スコア（野市町の男女比較）筆者作成

＜野市町の男女比較 土スコア＞

土スコアでは、男性のほうが女性より全体的に得点が高く、特に「ありがとう」「なんとかなる」「あなたらしく」指標では得点の差が大きい結果となった。

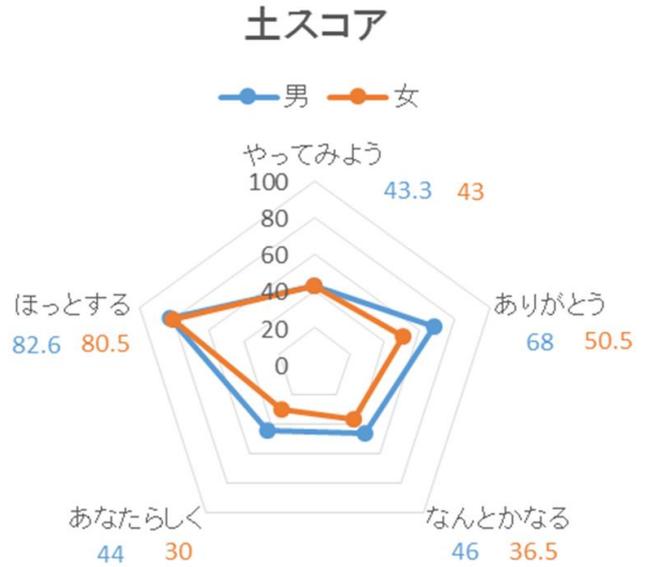


図 5-4 土スコア（野市町の男女比較）筆者作成

＜野市町の年齢別比較 風スコア＞

年齢の分類としては、年少人口・生産年齢人口・老年人口の3つに分類した。風スコアでは、全体的に年少人口の得点が高い結果となった。特に、「やってみよう」「ありがとう」指標では生産年齢人口・老年人口との得点の差が大きい結果となった。また、「やってみよう」「ありがとう」指標では、老年人口より生産年齢人口のほうが、得点が高い結果となった。どの年代も全体的に得点が高い。

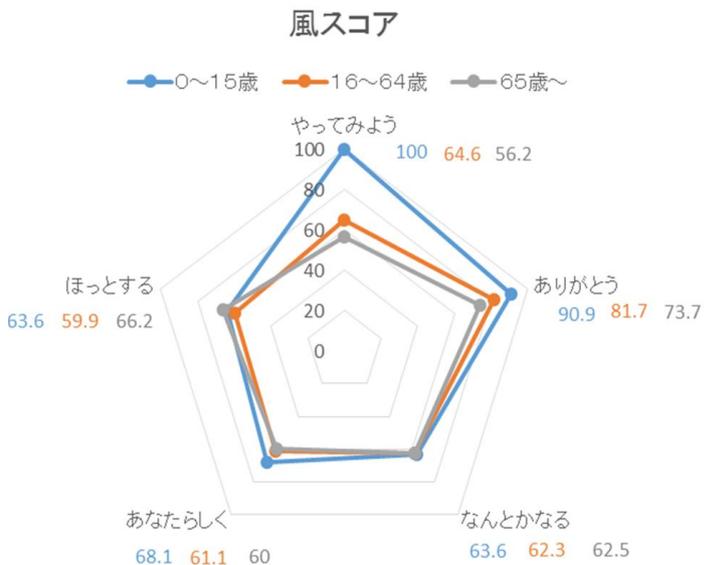


図 5-5 風スコア（野市町の年齢別比較）筆者作成

＜野市町の年齢別比較 土スコア＞

土スコアでも、全体的に年少人口の得点が高い結果となった。特に、「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「あなたらしく」指標では得点の差が大きい結果となった。また、生産年齢人口と老年人口を比較すると「ありがとう」「なんとかなる」「あなたらしく」指標で生産年齢人口のほうが、得点が高く、老年人口の「なんとかなる」「あなたらしく」指標が著しく低い結果となった。

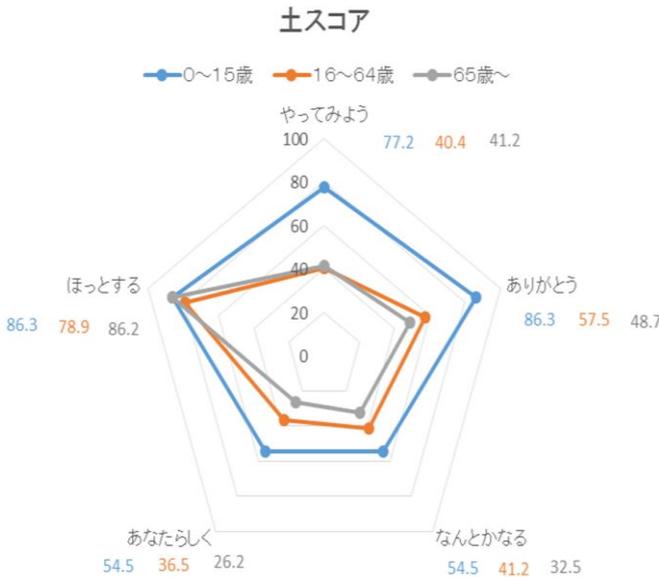


図 5-6 土スコア（野市町の年齢別比較）筆者作成

6. 考察

6.1 地域のインフラや環境に関する充実度

幸せを感じる町民つまり風スコアを増やし、幸せな気持ちを後押しする地域性つまり土スコアを強化するために何が必要かを探るため、地域を構成する地域エレメント 40 項目（地域環境、インフラ、行政サービスなど 40 項目）と、しあわせ風土スコアとの関係性を、全国を対象にした調査を元に分析したものが下記表である。

やってみようスコア 😊	ありがとうスコア 😊	なんとかなるスコア 😞	あなたらしくスコア 😊	ほっとするスコア 😞
1. 公民館	1. 地域の知名度	1. 景観・まちなみ	1. お祭り・イベント	1. 娯楽施設・制度
2. 地域の知名度	2. 国際性	2. 地域の知名度	2. 地域の知名度	2. 地域活動の機会・制度
3. 地域活動の機会・制度	3. 景観・まちなみ	3. 治安・犯罪防止	3. 景観・まちなみ	3. 公園・運動施設
4. 国際性	4. 地域活動の機会・制度	4. 自治体の情報提供	4. 娯楽施設・制度	4. 景観・まちなみ
5. 公園・運動施設	5. 公民館	5. 地域活動の機会・制度	5. 商店街・中心市街地	5. 自治体の情報提供

図 6-1 風スコアと関連の高かった上位 5 項目

(HP 佐川町総合計画を元に筆者が作成)

やってみようスコア 😊	ありがとうスコア 😊	なんとかなるスコア 😞	あなたらしくスコア 😊	ほっとするスコア 😞
1. 飲食・買い物店	1. 水・空気の質	1. 娯楽施設・制度	1. 商店街・中心市街地	1. 食材の質・食文化
2. 地域活動の機会・制度	2. 食材の質・食文化	2. 商店街・中心市街地	2. 娯楽施設・制度	2. 水・空気の質
3. 商店街・中心市街地	3. 自然環境	3. 飲食・買い物店	3. 国際性	3. 治安・犯罪防止
4. 娯楽施設・制度	4. 治安・犯罪防止	4. 国際性	4. 飲食・買い物店	4. ものづくりの質
5. 自治体の情報提供	5. ものづくりの質	5. 地域の知名度	5. 公共交通インフラ	5. 自然環境

図 6-2 土スコアと関連の高かった上位 5 項目

(HP 佐川町総合計画を元に筆者が作成)

6.2 属性ごとの考察

＜高知県全域との比較 風スコア＞

野市町は、高知県全域と比べるとプラスの地域性として①公民館が充実している②地域の知名度が高い③景観・まちなみが良い④地域活動の機会が多く制度が整っていることが考えられる。

＜高知県全域との比較 土スコア＞

野市町は、高知県全域と比べるとプラスの地域性として①食材の質が良く食文化があることが考えられる。反対にマイナスの地域性として、①娯楽施設が少なく制度が充分に整っていない②商店街が廃れ中心市街地から離れていることが考えられる。

＜野市町の男女比較 風スコア＞

差異が見られなかったため省略。

＜野市町の男女比較 土スコア＞

男性のほうが女性より①水・空気の質がよい②娯楽施設・制度が整っている③商店街・中心市街地からの距離に満足していると考えられることから、男性用の娯楽施設（パチンコ店、ゲームセンター、飲み屋など）は充実しているが女性用の娯楽施設（ショッピングモール、エステサロン、カフェなど）はあまり充実していない、または、知られていないと考える。また、小さい子供連れの母親にとって公共交通機関や車での長時間の移動・運転は負担が大きいため野市町の商店街の現状及び中心市街地からの距離の満足度が低いと考える。

＜野市町の年齢別 風スコア＞

年少人口は、生産年齢人口・老年人口に比べて①公民館②地域の知名度に満足していると考えられるが、どの年代も全体的に偏差値が高い結果となっていることからマイナスの地域性はあまり見られないと考える。

<野市町の年齢別 土スコア>

年少人口は、生産年齢人口・老年人口と比べて①飲食・買い物店舗②水・空気の質③娯楽施設・制度④商店街の現状・中心市街地からの距離に満足していると考えられる。ヒアリング調査の際、10代後半 20代 30代前半の若者世代から「衣服などファッションに関するものは野市町では買わない」との意見が複数寄せられたことから生産年齢人口の買い物店舗への満足度が低いことが考えられる。反対に年少人口では、「フジグラン（ハニーズ）やアベイルなどの野市町で衣服を購入している」という意見が多かったことや、マクドナルドやフードコートといった中学生の行きつけとなる飲食店も揃っていることから、年少人口の飲食・買い物店舗への満足度は高いことが考えられる。また、老年人口では、商店街の現状・中心市街地からの距離に満足していないと考えられる。老年人口へのヒアリング調査の際、「昔のように商店街が戻ってほしい」「昔の商店街は賑やかだったのに…」という意見やお年寄りの長時間の運転や移動は負担が大きいと感じる人が多いため満足度が低いと考える。

6.3 まとめ

野市町の人口が増え続けている要因としては、①地域の知名度が高い②景観・まちなみが良い③食材の質が良く食文化があることから、市街地から移住してくる人が多いのではないかと考える。①公民館が充実している②地域活動の機会が多く制度が整っていることから、地域の人同士の繋がりが強く、地域に根付く人（野市町に永住する人）が多いのではないかと考える。また、ヒアリング調査の際、「なぜ、野市町に住んでいるのか？」の質問に「津波の心配がない」との回答が多数寄せられたことから、同じ香南市の中でも南海トラフ地震に備え、移住してくる人が多いのではないかと考える。

7. 今後の課題・提案

・映画館や女性向け娯楽施設の展開及び広告宣伝
娯楽施設が少ないという野市町の課題解決のため映画館という、どの年代の町民も楽しめる娯楽施設を提案する。フジグラン野市店に協力を依頼しフジグランの敷地内に映画館を

つくることで景観・まちなみにも支障をきたさない。また、女性用の娯楽施設が少ないという課題解決のためにエステサロンやネイルサロン、カフェなどの展開及び広告宣伝を提案する。現時点で、野市町にはエステサロンやネイルサロン、カフェなどの女性向けの娯楽施設は多くはないが揃っている。しかし、お店情報がインターネット上にないことや広告が十分にされていないことから知らない女性が多い。そういった現状から女性の娯楽施設への満足度が低い。既存のお店のHP作成や広告宣伝を促す必要がある。

・商店街の活性化

現在の野市町の商店街にあるお店はほとんどが閉店している。以前は、パン屋さんや駄菓子屋、アパレルショップなどが立ち並んでいたが駐車場がなく道路に面していて立ち寄りにくいことやフジグランなどのショッピングモールができたことから客足が遠のいたのが原因であると考えられる。少子高齢化社会により今後、比率として増加すると想定される65歳以上の老年人口の満足度があがれば老年人口の転居を防ぎ、今後永住する町民が増えると考えられる。老年人口の満足度が著しく低い商店街・中心市街地の満足度を高めるため、野市町の旧商店街の活性化が必要である。

引用・参考文献

1. 寺島実郎「全47都道府県幸福度ランキング2016」
2. 香南市「まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン」
<http://webcache.googleusercontent.com/search?q=cache:JSz-WXiqgWoJ:www.city.kochi-konan.lg.jp/download/%3Ft%3DLD%26id%3D4211%26fid%3D22495+&cd=1&hl=ja&ct=cInk&gl=jp>
3. issue+design 社会の課題に、市民の創造力を
<http://issueplusdesign.jp/project/local-happiness/691>
4. 地域の幸福度を測定する-博報堂
<http://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2014/08/20140811.pdf>
5. チームさかわ まじめに、おもしろく。佐川町総合計画
<http://teamsakawa.jp/wp-content/themes/teamsakawa/img/sogokeikaku.pdf>

